

科 目 名

中国語Ⅱ

Chinese II

2年 後期 2単位 選択

単 援 朝

概 要

中国語Ⅱは、中国語Ⅰと同じく初級コースでありながらそれよりさらに一方上の段階を学ぶ初・中級コースである。コミュニケーションのための中国語学習となるよう、厳選された文法事項を勉強すると同時に、会話練習に力点を置き平易な会話を反復練習し、生活習慣を反映する語彙・表現の学習を通じて、中国の文化、社会的諸相をある程度理解することを図る。

目 標

- 1) 簡単な会話ができ、複文を含む短い文章が読めるようにする。
日安として中国語検定試験4級程度の学力を養う。

授業計画

| テ ー マ | 内 容 |
|------------|------------------------|
| ① 予・復習 | 中国語Ⅰで学習した内容の確認 |
| ② ペンパル訪問 | 趣味・完了の表現 |
| ③ 北京の四季 | 形容詞述語文(2) |
| ④ 北京の四季 | 主述構造述語文 |
| ⑤ 拳法と気功術 | 可能の表現、補語(2)(3)、助動詞のまとめ |
| ⑥ 依頼 | 進行の表現(2)、兼語式、助数詞のまとめ |
| ⑦ 中華料理 | 趣味・愛好の表現 |
| ⑧ 文法のまとめ | テンスとアスペクト |
| ⑨ 復習・中間テスト | 第十課～第十五課 |
| ⑩ 中国の食文化 | 推定の表現、副詞のまとめ |
| ⑪ 李さん王さん | 仮定・比較の表現、対人呼称 |
| ⑫ 友人との文通 | 補語(4)(5)、前置詞のまとめ |
| ⑬ 友人との文通 | 程度の表現、連動式・兼語式のまとめ |
| ⑭ 復習 | 第十五課～第十八課 |

授業方法

発音練習、会話練習と文法解説を交互に行う。毎回、授業の最後に練習問題を課す。

学習到達度の評価

- ① 授業中に発音、会話させたり質問したりして理解度を把握する。
- ② 毎回、その日に学んだ内容を中心とする練習問題をやらせ、次回の授業の冒頭で正解を発表し、問題点の指摘、解説を行う。
- ③ 中間テストと定期試験の講評を行う。

評価方法

練習問題、中間テスト、定期試験の成績で総合的に判定する。

教 材

教科書：王 忠義・単 継清 著「中国への招待」 熊本出版文化会館

辞 書：姜 晩成・王 郁良 編「精選日中・中日辞典」 東方書店

履修上の注意

語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習になるように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。単語を覚えることも重要である。